

色彩と連想に関する一試考

——緑色系色彩の連想傾向——

波 田 和歌子、赤 土 正 美

1. 緒 言

筆者の1人¹⁾は「色彩と連想」というテーマで数回の調査を行ってきたが、ある連想項目(国名・都市名・行事名など)に対して、当初予想していなかった連想事項「B」つまり具体的や抽象的な連想事項ではなく、「何となく」という漠然とした表現で示される連想事項が、かなりの割合で出現することがわかった。しかもこの解答を色彩別に調べて見ると、寒色系の有彩色に現われる比率が、暖色系の有彩色や無彩色のそれに比べて全般的に少く、連想項目が行事名の調査のときには、緑色系の色彩での出現率がゼロという結果が見られた。

このため前報²⁾では、これを結論の最後に示したが、こゝで取り上げた緑色系の色彩がわずかに3種であったことから、単なる偶然ではないかとの疑問もないとはいえなかった。

したがって今回は緑色系の色彩を黄緑・緑・青緑にわたって計12種選択し、しかも「色彩と連想」の原点にもどって、あらかじめ連想項目は一際設定せず、各人が全くフリーの状態で1つの色彩を眺め、それに対する連想事項を決定し、その事項を選んだ理由と決定に至るまでの難易度を調べて見たが、以下その要旨を報告する。

2. 調査方法

(1) 調査の対象

前報¹⁾に示してある主旨や過去の調査で「B」を選んだものが女性に多く、しかも女性の中には直観的な判断で「B」を選ぶことがあることを知ったので、調査の対象には本学被服学科1年次および同短期大学被服コース1年次(以下それぞれ和洋女子大および和洋女短大と略称する。)の学生を選び、両学生のアンケートの中から無作為抽出法によって、それぞれ40名ずつ計80名のデータを採用した。

なお調査はいずれも平成6年の前学期に実施したが、講義の関係で和洋女子大は9月29日

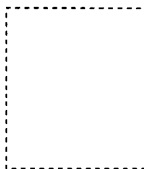

No	トーン記号	配色カード
1	v 10	
2	v 11	

図1 配色ノートの一例
(記号は日本色研方式による。)

の午後1時(晴天)、和洋女短大は同じ日の午後2時30分(晴天)を選び、場所はいずれも左右両側に窓があり、太陽光線の不足を蛍光灯で補った普通教室を利用したが、温湿度・照度などの科学的データは前回同様あえて記録しなかった。また被験者の年齢は両学ともに18歳6か月～19歳5か月であり、計80名の平均値は19歳0か月である。

(2) 色彩の選定

色彩としては誰もが緑色と認める黄緑・緑・青緑系のものをセレクトしたが、1991年の日本色彩研究所の調査を参考として、色立体の内側に位するトーンと外側にある色彩の中で比較的明度の高いトーンを除外し、V (10・11・12・13・14) b (10・12) dp (10・12・14) およびdk (10・12) の計12色を選定した。

(3) 配色ノートの作製

日本色研事業(株)製の配色カード129aの中から上記12種類の色彩を選び出し、対比の影響や縦または横方向が強調されて起る連想への悪影響をできるだけ避ける意味で、B5判の白紙上に3.5×5cm大にカットしたものを、図1に示すように1頁当たり上下2枚ずつ貼付し、計6頁のノートを作って各人に利用させた。

(4) 調査用紙と実施要領

B5判の白紙上にカシオ計算機(株)製のカシオワードHW-2000V型で設問その他を印字したものを各人に渡し、自由回答方式でそれぞれ1つの連想事項とその理由および回答に対する難易度を記入させたが、その詳細は表1の通りである。

なお連想事項の決定などに要する時間は、各色彩によって異なることが予想されるので、計24分間を解答時間として定め、調査者の指示による集団調査方式を用いた。また前回同様調査に先立って「色彩と連想」に関係があると思われる諸因子を、職業・性別など既知のものも含めて、各人に記入させた。

表 1 調査用紙

色彩と連想に関する調査（ 年 月）

年齢	歳 か月	性別	男・女	職業	
性格	外向・中庸・内向	家族	兄・姉・弟・妹	趣味	
出身	都・道・府・県（ ）				

与えられた配色カードを見て、思い浮かぶ連想とその理由を1つずつ書き、難易度の該当箇所に○を付けなさい。

なおどうしても連想が浮かばないときには、連想事項欄に「解らない。」と書きなさい。（但し、難易度欄はブランクのままでよい。）

調査時間 計24分間

No.	トーン記号	連 想 事 項	そ の 理 由	難 易 度
1	v 10			難・中・易
2	v 11			難・中・易
3	v 12			難・中・易
4	v 13			難・中・易
5	v 14			難・中・易
6	b 10			難・中・易
7	b 12			難・中・易
8	dp10			難・中・易
9	dp12			難・中・易
10	dp14			難・中・易
11	dk10			難・中・易
12	dk12			難・中・易

3. 調査結果

表2 連想を左右する諸因子

諸 因 子		和 洋 女子大	和洋女 短 大	合 計	備 考
性 格	内 向	6	12	18	1) 表中の数字は、それぞれ該当者数を示す。 2) 家族欄の数字は本人以外の兄弟姉妹の数である。 3) 趣味の各系は、それぞれつぎのことを意味する。 文学系：読書・創作など。 体育系：テニス・スキー・水泳・ゴルフなど。 芸術系：絵画・音楽・写真・映画・書道など。 家庭系：洋裁・手芸・料理・茶華道など。 旅行系：単なる旅行以外にドライブ・ショッピングなど。 なお数字の総計が他の因子より多いのは、複数の趣味を持つものがあるためである。
	中 庸	28	25	53	
	外 向	6	3	9	
	合 計	40	40	80	
家 族	男・女性	8	9	17	
	男性のみ	15	14	29	
	女性のみ	13	15	28	
	な し	4	2	6	
	合 計	40	40	80	
趣 味	文 学 系	5	9	14	
	体 育 系	15	12	27	
	芸 術 系	18	23	41	
	家 庭 系	10	5	15	
	旅 行 系	5	1	6	
	合 計	53	50	103	
出 身	北 海 道	1	0	1	
	秋 田	1	0	1	
	山 形	1	0	1	
	茨 城	3	1	4	
	埼 玉	2	3	5	
	東 京	8	14	22	
	千 葉	21	21	42	
	新 潟	0	1	1	
	長 野	1	0	1	
	静 岡	1	0	1	
	広 島	1	0	1	
	合 計	40	40	80	

表3 各色彩に見られる主な連想事項

トーン記号	和洋女子大学			和洋女子短期大学			備 考
	順位	連想事項	人数	順位	連想事項	人数	
V10	1	若 葉	5	1	マスカット	6	和洋女大に該当者1名ながら、蛙・草原の連想事項がある。
	2	レタス	3	2	芝 生	4	
	3	芝 生	2	3	蛙	3	
	3	新 芽	2	3	若 葉	3	
	3	ばった	2	5	新 芽	2	
	3	春	2	5	草 原	2	
	3	マスカット	2	5	葉	2	
	3	解らない	2	5	春	2	
V11	1	ゴルフ場	5	1	蛙	5	和洋女大に該当者1名ながら、芝生・メロンの連想事項があり、和洋女短大には同じく1名ながら、ゴルフ場・春がある。
	2	春	3	2	芝 生	3	
	2	若 葉	3	2	草 原	3	
	4	蛙	2	4	ばった	2	
	4	幼稚園	2	4	メロン	2	
	4	解らない	2	4	山	2	
				4	解らない	2	
V12	1	解らない	6	1	解らない	5	和洋女大に該当者1名ながら、春の連想事項がある。
	2	信 号	2	2	クレヨン	2	
	2	夏の葉	2	2	信 号	2	
				2	春	2	
V13	1	折り紙	3	1	木の葉・葉	5	和洋女大に該当者1名ながら、木の葉・葉とほうれん草の連想事項があり、和洋女短大には同じく2名の、胡瓜がある。
	2	胡 瓜	2	2	ほうれん草	4	
	2	西 瓜	2	2	森	4	
	2	ペンケース	2	4	絵 具	3	
	2	森	2	4	折り紙	3	
V14	1	海	8	1	海	6	和洋女短大に該当者1名ながら、トレーナーの連想事項がある。
	2	解らない	7	2	解らない	5	
	3	人工的	2	3	沖縄の海	4	
	3	トレーナー	2	4	絵 具	2	
				4	蛙	2	

トーン記号	和洋女子大学			和洋女子短期大学			備 考
	順位	連想事項	人数	順位	連想事項	人数	
b10	1	お 茶	2	1	解らない	4	和洋女大に該当者1名ながら、 蛍光ペンの連想事項があり、和 洋女短大には同じく1名ながら、 キャベツがある。
	1	キャベツ	2	2	青りんご	2	
	1	セロリ	2	2	銀 杏	2	
	1	解らない	2	2	芋 虫	2	
				2	お 茶	2	
				2	蛍光ペン	2	
				2	新 芽	2	
				2	梨	2	
				2	葉	2	
b12	1	赤ちゃん	2	1	解らない	5	和洋女大に該当者1名ながら、 エメラルドの連想事項がある。
	1	折り紙	2	2	海	2	
	1	公 園	2	2	エメラルド	2	
	1	解らない	2	2	折り紙	2	
dp10	1	お 茶	8	1	抹 茶	17	和洋女短大に該当者1名ながら、 お茶・解らないの連想事項 がある。
	2	抹 茶	3	2	アイス	3	
	3	アイス	2	3	宇治金時	2	
	3	おばさん	2	3	地下鉄	2	
	3	茶 道	2				
	3	渋 い	2				
	3	解らない	2				
	3	和 室	2				
dp12	1	解らない	4	1	苔	3	和洋女大に該当者1名ながら、 木・苔・森の連想事項がある。
	2	黒板の緑	2	1	解らない	3	
	2	木の葉・葉	2	3	蛙	2	
				3	木	2	
				3	草	2	
				3	黒板の緑	2	
				3	木の葉・葉	2	
				3	森	2	

トーン記号	和洋女子大学			和洋女子短期大学			備 考
	順位	連想事項	人数	順位	連想事項	人数	
dp14	1	解らない	5	1	深 海	8	和洋女大に該当者1名ながら、深海の連想事項があり、和洋女短大には同じく1名ながら、黒板の緑の連想事項がある。
	2	黒板の緑	3	2	海 底	4	
	3	海	2	3	解らない	3	
	3	海 底	2	4	海	2	
dk10	1	苔	4	1	ど ぶ	4	和洋女大に該当者1名ながら、秋と川・河と年寄・老人の連想事項があり、和洋女短大には同じく1名ながら、苔とセーターとスーツ・背広の連想事項がある。
	1	自衛隊	4	2	秋	3	
	1	セーター	4	3	川・河	2	
	4	スーツ・背広	2	3	年寄・老人	2	
	4	木	2	3	軍 服	2	
dk12	1	黒板の緑	5	1	黒板の緑	8	和洋女大に該当者1名ながら、苔・わかめの連想事項があり、和洋女短大には同じく1名ながら、森林・解らないの連想事項がある。
	2	制 服	2	2	苔	2	
	2	森 林	2	2	わかめ	2	
	2	解らない	2	2	葉	2	

いままでに述べた方法を用いて、和洋女子大の40名と和洋女短大の40名を対象に行った調査結果を表2にまとめて調べて見ると、当然のことながら一致しないが、家族の項では全体の傾向がよく似ており、性格・趣味・出身の項でもそれぞれ中庸と芸術・体育系および千葉・東京が多いことなど、かなりの共通点があることがわかる。

このためか表3にある該当者2名以上の連想事項を調べて見ると、順位や事項そのものが多少異なる色彩もあるが、備考欄を考慮すると各色彩中の連想事項がかなり似ていることがわかる。

したがって本調査では両学の結果を1つにまとめた表4を最終結果として掲げ、この表と表1を基にして作った表5のデータを含めて考察を進めて行くことにする。

なお連想事項の具体・抽象の両分類は、大庭氏その他³⁾の方法に準じて行った。

表4 各色彩の連想事項と該当者数

トーン 記 号	連想事項	理 由 (該当者数)	合計	備 考
v 10	マスカット	皮の色(5) 美味しい色(1) 造った色(1) 実の色(1)	8	連想事項欄の記号は、つぎのことを意味する。 A：該当者1名の連想事項を、総括して示したものである。 したがって、理由欄の括弧内は、該当者の総数である。 B：連想事項が1つに固定せず漠然としており、「何となく」と答えたものである。
	若 葉	黄緑(2) 春らしい(2) 鮮やか(1) 庭木(1) 水々しい(1) 旅行の印象(1)	8	
	芝 生	芝の色(6)	6	
	蛙	皮膚の色(3) 泣き声(1)	4	
	新 芽	若々しい(2) 五月の林(1) 若い芽(1)	4	
	春	木の芽(1) 新芽(1) 若草(1) 若葉(1)	4	
	草 原	草の色(2) 春らしい(1)	3	
	レタス	葉の色(3)	3	
	キャベツ	キャベツ畑(1) 調理実習(1)	2	
	葉	葉の色(2)	2	
	ばった	身体の色(1) 生き物(1)	2	
	水 田	稲(1) 実家の風景(1)	2	
	解らない	——(2)	2	
	A (具体的)	(29)	29	
	A (抽象的)	(1)	1	
v 11	蛙	皮膚の色(5) 身体の色(2)	7	連想事項欄の記号は、前と同じである。
	ゴルフ場	芝の色(5) 自然の色(1)	6	
	芝 生	芝生の色(3) 水々しい(1)	4	
	春	木の葉(1) 新緑(1) 華やか(1) 春キャベツ(1)	4	
	解らない	——(4)	4	
	草 原	草の色(2) 爽快(1)	3	
	メロン	メロンの絵の色(1) 皮の色(1) ジュース(1)	3	
	若 葉	新芽(1) 夏らしい(1) 春の木(1)	3	
	カメレオン	皮膚の色(2)	2	
	葉	自然(1) 双葉(1)	2	
	ばった	身体の色(2)	2	
	山	遠景(2)	2	
	幼稚園	名札の色(1) 壁に貼ってある絵(1)	2	

トーン 記 号	連想事項	理 由 (該当者数)	合計	備 考
v 11	A (具体的)	(34)	34	
	A (抽象的)	(2)	2	
v 12	解らない	——(1)	11	連想事項欄の記号 は、前と同じである。
	信 号	緑色(3) 車の運転(1)	4	
	春	生れたての色(1) 芝(1) 緑(1)	3	
	奇 麗	色の感じ(1) 他に考えられない(1)	2	
	クレヨン	緑色(2)	2	
	五 月	木の葉(1) 新緑(1)	2	
	桜の葉	葉の色(2)	2	
	芝 生	芝の色(2)	2	
	新 緑	潑刺(1) 陽を受けた緑(1)	2	
	夏の葉	広葉樹(1) 夏山(1)	2	
	A (具体的)	(45)	45	
	A (抽象的)	(3)	3	
v 13	折り紙	緑色(3) 典型的な緑(2) 持っている緑(1)	6	連想事項欄の記号 は、前と同じである。
	木の葉・葉	夏(3) 木の葉の色(2) 葉の色(1)	6	
	森	森の雰囲気(3) 葉の色(2) 木の色(1)	6	
	ほうれん草	茹でた色(3) 葉の色(2)	5	
	胡 瓜	皮(2) 人工栽培の物(1) 水々しい(1)	4	
	絵 具	色(2) はっきりしている(1)	3	
	木・大木	木の葉(2) 絵具の色(1)	3	
	海	海の色(1) 奇麗な感じ(1)	2	
	西 瓜	西瓜の色(1) 皮の色(1)	2	
	定番・基本	典型的な緑(1) 緑の中心色(1)	2	
	ペンケース	自分の持物(2)	2	
	山	子供の絵(1) 夏山(1)	2	
	解らない	——(1)	1	
	A (具体的)	(35)	35	
	A (抽象的)	(0)	0	
	B (蛙)	何となく(1)	1	

トーン 記 号	連想事項	理 由 (該当者数)	合計	備 考
v 14	海	海の色(6) 深い(4) 海水(3) 涼しそう(1)	14	連想事項欄の記号 は、前と同じである。
	解らない	——(12)	12	
	沖縄の海	エメラルドグリーン(4)	4	
	トレーナー	色(1) 弟の物(1) 男性の物(1)	3	
	湖	湖の色(1) 苔のある湖(1) 深い所(1)	3	
	青 虫	身体の色(1) 気持が悪い(1)	2	
	絵 具	前に持っていた(2)	2	
	蛙	絵本で見たもの(1) 身体の色(1)	2	
	信 号	緑(2)	2	
	人工的	自然にない色(1) 人造の色(1)	2	
	水族館	色とイメージ(1) 水槽の中(1)	2	
	A (具体的)	(29)	29	
	A (抽象的)	(2)	2	
	B (南の島)	何となく(1)	1	
b 10	解らない	——(6)	6	連想事項欄の記号 は、前と同じである。
	お 茶	色(4)	4	
	キャベツ	色(1) 美味しそう(1) 葉(1)	3	
	蛍光ペン	黄に近い(1) その色(1) チェックペン(1)	3	
	青りんご	皮(2)	2	
	銀 杏	葉(2)	2	
	芋 虫	明るい(1) 身体の色(1)	2	
	新 芽	新しい葉(2)	2	
	セロリ	葉と茎の色(2)	2	
	梨	皮(1) 水々しい(1)	2	
	葉	新芽(1) 双葉(1)	2	
	ばった	身体の色(2)	2	
	潑 刺	明るい(1) 元気(1)	2	
	マスカット	皮の色(2)	2	
	緑 茶	葉の色(1) 飲みたい(1)	2	
	A (具体的)	(38)	38	
	A (抽象的)	(4)	4	

トーン 記 号	連想事項	理 由 （該当者数）	合計	備 考
b12	解らない	——(7)	7	連想事項欄の記号 は、前と同じである。
	折り紙	奇麗な色(2) 小学校で使った(2)	4	
	エメラルド	色(2) 宝石(1)	3	
	赤ちゃん	優しい(1) ふわふわ(1)	2	
	海	海の色(2)	2	
	公 園	滑り台(1) ペンキ(1)	2	
	柵・フェンス	ペンキの色(1) 駐車場(1)	2	
	ミントアイス	その色(2)	2	
	メロン	その色(1) 皮の色(1)	2	
	A（具体的）	(49)	49	
	A（抽象的）	(4)	4	
	B(エメラルド)	何となく(1)	1	
dp10	抹 茶	色(10) 粉(7) 調理実習(1) 濁った色(1) パッ ケージの色(1)	20	連想事項欄の記号 は、前と同じである。
	お 茶	色(3) 抹茶(2) 抹茶アイス(2) 渋い(1) 葉(1)	9	
	アイス	抹茶アイス(5)	5	
	解らない	——(3)	3	
	秋	枯葉(1) 季節感(1)	2	
	秋の山	落着いてる(1) ハイキング(1)	2	
	鶯	羽根の色(2)	2	
	宇治金時	色(2)	2	
	おばさん	好みの色(1) 中年の人(1)	2	
	茶 道	お茶(1) 抹茶(1)	2	
	渋 い	お茶(1) 抹茶(1)	2	
	地下鉄	駅員の服(1) ユニホーム(1)	2	
	和 室	お茶室(1) 壁の色(1)	2	
	A（具体的）	(23)	23	
	A（抽象的）	(2)	2	
dp12	解らない	——(7)	7	連想事項欄の記号 は、前と同じである。
	木の葉・葉	葉の色(4)	4	
	黒板の緑	色(3) 1回消した色(1)	4	

トーン 記 号	連想事項	理 由 (該当者数)	合計	備 考
dp12	苔	色(4)	4	
	木	折り紙の色(1) クリスマスツリー(1) 葉(1)	3	
	森	薄暗い(1) 木の色(1) 森の熊を思い出す(1)	3	
	蛙	皮膚の色(2)	2	
	草	草むら(1) 雑草(1)	2	
	遠い山	色(1) 木の葉の重なり(1)	2	
	山	青々(1) その色(1)	2	
	A (具体的)	(43)	43	
	A (抽象的)	(4)	4	
dp14	深 海	その色(9)	9	連想事項欄の記号 は、前と同じである。
	解らない	——(8)	8	
	海 底	光の届かない底(4) 暗い(2)	6	
	海	深海(2) 汚い(1) 奇麗な色(1)	4	
	黒板の緑	色(3) 文字がはっきりしている(1)	4	
	折り紙	色(1) 使い方に迷う(1)	2	
	湖	色(1) 夏の湖(1)	2	
	夜	空(1) 月明りの山(1)	2	
	A (具体的)	(38)	38	
	A (抽象的)	(5)	5	
dk10	セーター	欲しい色(2) 男物(1) 雑誌にあった(1) 冬着(1)	5	連想事項欄の記号 は、前と同じである。
	秋	秋の色(2) 重い感じ(1) 森(1)	4	
	苔	苔の色(3) 汚い(1)	4	
	自衛隊	服(3) トラック(1)	4	
	ど ぶ	その色(3) 汚い(1)	4	
	川・河	汚い(2) よどんだ色(1)	3	
	スーツ・背広	上品(1) 父の持物(1) 服の色(1)	3	
	年寄・老人	落着(1) 肩掛け(1) 着物(1)	3	
	木	幹(1) 弱った木(1)	2	
	汚い海	重そう(1) その色(1)	2	
	軍 服	強そう(1) 服の色(1)	2	

トーン 記 号	連想事項	理 由（該当者数）	合計	備 考
dk10	泥	ざらざら(1) 田んぼ(1)	2	
	抹茶	葉の色(1) 抹茶アイス(1)	2	
	解らない	——(1)	1	
	A（具体的）	(36)	36	
	A（抽象的）	(2)	2	
	B（苔）	何となく(1)	1	
dk12	黒板の緑	色(12) 学校にある(1)	13	連想事項欄の記号は、前と同じである。
	苔	色(1) じめじめ(1) だろだろ(1)	3	
	森林	木の重なり(1) 陽の入らぬ森(1) 松林(1)	3	
	わかめ	色(3)	3	
	解らない	——(3)	3	
	絵 具	濃い色(1) 失敗した色(1)	2	
	制 服	ブレザー(2)	2	
	葉	色(2)	2	
	洋服	秋らしい(1) ズボン(1)	2	
	夜の海	暗い(1) 光を受けた海(1)	2	
	A（具体的）	(41)	41	
	A（抽象的）	(3)	3	
	B（暗い）	何となく(1)	1	

4. 考 察

(1) 連想事項に見られる傾向

まず各色彩に対する連想事項の総件数を調べて見ると、前回の調査¹⁾の国名21～32件（平均26.0件）都市名19～27件（平均24.5件）行事名14～42件（平均26.3件）に対して、今回は調査人員が10～15名少かったにもかかわらず、各色彩にわたって37～62件（平均50.3件）と連想事項の総件数がかなり多いことがわかる。これは前回と異なりあらかじめ連想項目を示しておかなかったために、各人が広範囲にわたって全く自由に連想事項を考えた結果と思われるが、この傾向はb12をはじめv12・dp12・b10などを見るとわかるように、上位を占める数連想事項の該当者数が少ないものほど著しいといえよう。

つぎに具体的な連想事項と抽象的なそれとの割合を見ると、前回と同様にdk10・b12・v12・

表5 各色彩に現われた諸因子

トーン 記号	連想事項の件数(該当者数)			難易度			「解らない」の内訳		連想事項「B」の内訳			備考
	具体的	抽象的	合計	難	中	易	該当者数	順位	事項名	難易度	性格	
v10	41(77)	1(1)	42(78)	5	30	43	2	5	——	——	—	1) 難易度欄の 数字は、該当者 数を示している。 2) 表中の記号 ★は、同一人物 を意味している。
v11	46(74)	2(2)	48(76)	16	37	23	4	3	——	——	—	
v12	53(64)	4(5)	57(69)	29	28	11	11	1	——	——	—	
v13	48(79)	0(0)	48(79)	17	31	31	1	6	蛙★	易	中庸	
v14	40(66)	2(2)	42(68)	31	21	16	12	2	南の島	難	中庸	
b10	50(68)	5(6)	55(74)	13	32	29	6	1	——	——	—	
b12	58(69)	4(4)	62(73)	13	29	32	7	1	エメラルド	中	内向	
dp10	35(75)	2(2)	37(77)	12	27	38	3	4	——	——	—	
dp12	52(69)	4(4)	56(73)	39	26	8	7	1	——	——	—	
dp14	45(67)	5(5)	50(72)	19	38	15	8	2	——	——	—	
dk10	50(77)	2(2)	52(79)	25	27	27	1	5	苔★	中	中庸	
dk12	50(73)	4(4)	54(77)	24	35	18	3	2	暗い	難	内向	

dp12などをはじめいずれも具体的なものが圧倒的に多く、とくにv13はすべて具体的連想であったが、結果がこのようになったことは黄緑から緑を経て青緑に至るまで、日常目の当りにある具体的な事物がかなり多いことを意味するものと考えられる。

また類似の色彩が多かったためか、葉の6色彩を筆頭に、蛙(5色彩)海(4色彩)芝生・春・ばった・山・木・折り紙・黒板の緑・苔(各3色彩)若葉・草原・キャベツ・新芽・マスカット・メロン・信号・森・湖・お茶・抹茶・秋(各2色彩)と、多くの色彩にまたがって計23種類の同一連想事項が現われているが、同一人物による選択は1例もなく、キャベツ・マスカット・メロン・お茶・抹茶・レタス・ほうれん草・胡瓜・西瓜・青りんご・セロリ・梨・緑茶・ミントアイス・アイス・宇治金時などの食べ物や、折り紙・エメラルド・赤ちゃん・和室といったいかにも女性らしい連想事項が数多く現われている反面、トレーナー・セーター・洋服・制服などの男女共通に用いる服装関係の連想事項は、とくに男物と断っていないものが多少見られるものの、ワンピース・ブラウス・スカート・スラックス・スカーフや靴類など、典型的な女性の服飾関係の品物は1つも見当たらない。これは緑色系の色彩が一面には新芽・若葉などの連想事項からわかるように新鮮さを表わしているが、その反面寒暖の中間色で明快さに欠ける面や、自然の中で見られる人間の共有色として受け入れられることが多く、どちらかといえば男性的な色彩に属するためと蛙や青虫のイメージもあることなどから、この系統の色彩を服色に用いてわが身を飾ることを避けるという意識の現われと考

えられる。

なお各人が選んだ具体的な連想事項は、若葉・新芽・芝生・春・海・湖・山・蛙・メロン・胡瓜・黒板の緑など、いずれも大庭氏らの調査³⁾とよく似たものが多いが、抽象的な連想事項については幾分趣を異にしている。つまり大庭氏らのそれでは、青春・明朗・平和・安全・理想・幸福・発展・神秘・深遠・幻想・憂鬱・静寂・清楚・清潔など、漢字で構成されたいわゆる熟語が多く見られるが、今回は平凡・清楚・潑刺・安全・自然などの多少の熟語はあるにしても、他は暖かさ・嬉しさ・静けさ・淋しさなどの碎けた表現がかなり多く、近ごろの若者の漢字離れがこゝにも現われているといえよう。

さらに同系統の色彩が多かったためか連想事項が「解らない。」と答えたものがかなり多く、とくにv12・v14・b10・b12・dp12・dp14・dk12では第1～2位を占めている。これらの色彩ではdk10やv14など少数の例外はあるものの、全般にわたって連想事項の件数が多いことがわかる。

この「解らない。」と答えたものの難易度を調べて見ると、難と易がそれぞれ13～39名（平均24.0名）と8～32名（平均18.4名）であることがわかり、連想事項を最後まで考えた結果ついに「解らない。」と記したことがある程度うかがえるといえよう。

(2) 解答理由「B」についての検討

まず各人が選んだ連想事項に対するセレクトの理由として「B」と答えたものがあることがわかるが、その割合は極めて少く（0.56%）、この値は前回の調査¹⁾の国名（15.85%）や都市名（14.89%）はもちろん、行事名の2.04%よりもかなり少い値となっているが、これは過去の連想項目がいずれも与えられたものであったことや、行事名は比較的良好に知られているが、国名や都市名は解答者にとって必ずしも普遍的なものではなかったことを考慮すると極めて妥当な結果といえよう。つまり今回の調査によって特筆すべきことは、比率は極めて少いとはいえ各人が連想事項を考えたときでも、解答理由に「B」が現われるということである。また「B」が出る色彩について考えると、理由は判然としないものの、明らかに黄色味を帯びた色彩には出現していない。

つぎに前回与えられた連想項目はいずれも具体的なものであったため、抽象的な連想に対する「B」はゼロであったが、今回はv13（蛙）v14（南の島）b12（エメラルド）およびdk10（苔）の4件の「B」はいずれも具体的なものであるが、唯1件ながらdk12（暗い）という抽象的な連想事項に「B」の解答が出たことがわかる。またこの計5件の「B」の中でv13（蛙）とdk10（苔）が同一人物による重複選択であり、前回同様同一人物で3件以上はないものの、2件の「B」をセレクトしたものがあることもわかった。

しかもこの5件についての選択時の難易度を調べて見ると、難(2件)中(2件)易(1件)という結果が出ているので、連想事項の選択理由として、必ずしも解答に困り果てて「B」をセレクトしたのではなく、前回同様直観的な判断で「B」を選んだものが含まれていることもわかった。

なお「B」をセレクトしたものの性格が、前回のスポーツ選手を対象としたときには内向(1名)中庸(11名)外向(4名)であったが、今回はそれぞれ2名・2名・0名となっている。この点に関しては、この調査での各人の性格はいずれも自己申告制を採っているため、自分の性格を外向的と思っているスポーツ選手がかなり多いことによる差異か、前回の調査で緑色系の色彩(v10・v13・dk12)に「B」がなかったことによるためかは判然としないが、今回の調査がいままでとは多少手段方法が異なっている面もあるので、これだけのデータで云々することは早計と考えられ、今回同様数多くのトーンを含む同一色彩について調べた結果と比較検討する必要があると思われるので、この点については機会を見て調べたいと考えている。

5. 結 論

この報文は黄緑から青緑までの緑色系色彩に対して、本学の女子学生80名がいかなる連想事項を考え、その事項を選んだ理由がどのようなものであるかを調べたものであるが、以下その要点をまとめる。

(1) 緑色系色彩に対する連想事項の総件数は各色彩を通じてかなり多く、この傾向は上位を占める連想事項の該当者数が少ないものほど著しい。

(2) 同系統の色彩が多かったためか、連想事項に「解らない。」と答えたものがかなり多く、連想事項の総件数が多い色彩では第1～2位を占めている。

(3) 選ばれた連想事項はいずれの色彩においても具体的なものが圧倒的に多く、中には抽象的な連想事項が皆無の色彩もあったが、これは緑色系の色彩で身の回りにある具体的な事物が非常に多いことを意味している。

(4) 類似の色彩が多かったためか、同一の連想事項がかなりの色彩にわたって現われたが、同一人物による重複選択は1例もない。

(5) 果物・野菜・飲み物など、いかにも女性らしい連想事項が数多く見られる反面、色彩のイメージが災いしたためか典型的な女性の服飾関係の連想事項は1件も見当らない。

(6) 選ばれた連想事項中、具体的なものは過去の報告者の例とよく似たものが多いが、抽象的な連想事項は必ずしも一致せず、従来見られた漢字のみで構成されたいわゆる「熟語」

はあまり見られない。

(7) 連想事項を各人で選んだにもかかわらず解答理由を「B」としたものが数名現われたが、いずれも黄緑以外の系統の色彩に集中している。

(8) この「B」の中には抽象的連想事項の解答と同一人物による重複選択がそれぞれ1例ずつ現われ、直観的な判断で「B」をセレクトしたものも多少見られる。

稿を終るに当り、複雑な調査に積極的に協力された本学の学生諸嬢に対して、謝意を表する次第である。また今回も調査結果の統計的処理は、故意に行っていないことを附記しておく。

参考文献

- 1) 大貫、赤土：和洋女子大学紀要、第30集（家政系編）61～79（1990）
大貫、赤土：和洋女子大学紀要、第31集（家政系編）139～165（1991）
赤土正美：和洋女子大学紀要、第33集（家政系編）91～107（1993）
- 2) 赤土正美：和洋女子大学紀要、第33集（家政系編）91～107（1993）
- 3) 大庭三郎：照明学会雑誌、第48巻、第2号、66～69（1964）
National Lighting Conference（1980）
名取和幸：日本色彩研究所調査（1965）

波 田 和歌子（本学助手補）

赤 土 正 美（本 学 教 授）